

平成27年6月6日

第12回 市民公開講座を開催しました。

「糖尿病と言われたら」

平成27年5月16日（土）、当院南館8階会議室で市民公開講座「糖尿病と言われたら」を開催しました。講師は、糖尿病内科医長 山本由紀子医師です。司会は、副院長の城浩介医師が行いました。

今回、市民公開講座に初めて参加された方が37名と多く、全体では117名が来場され大盛況でした。

講演の内容は、糖尿病の分類と発症のメカニズム、合併症、治療や薬についてでした。最短でも5年以上経過しないと発症しない糖尿病の慢性合併症は、血管が悪くなると起こります。体内の細い血管が悪くなった場合と太い血管が悪くなった場合に起こる病気や症状の違いを丁寧にわかりやすく説明され、多くの参加者が熱心にメモを取られていました。

糖尿病は、治そうと思うのではなく上手に付き合っていく病気であること。糖尿病の治療の最終目的は、「血糖値を下げるのではなく毎日幸せに生活しながら長生きすること」だと話されました。

山本医師の講演はわかりやすく、大変ためになる内容でした。



講師 山本医師



たくさんの質問がありました



次回の市民公開講座 9月5日（土）午後2時開演 当院南館8階会議室

テーマ「気になる脳卒中の話」 講師 脳神経外科部長 住友 正樹

参加方法は、院内ポスター、ちらし、ホームページ、新聞等でお知らせいたします。申し込みは6月8日(月)から開始します。みなさまのご参加をお待ちしております。なお今回は会場の都合上 お申し込みを断わらせていただいた方がございました。心よりお詫び申し上げます。